

最終講義が行われました

平成26年3月31日をもって退職された岡村昇一高密度プラズマ物理研究系教授の最終講義が、平成26年3月18日に行われました。「側道から目指すもの」と題した講義に、研究者や学生等が多数集まり、熱心に聞き入っていました。平成26年度からは、研究力強化戦略室の特任教授として、引き続き本研究所に勤務されます。



平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰を受賞

本研究所の金子修副所長、竹入康彦大型ヘリカル装置計画実験統括主幹、長壁正樹プラズマ加熱物理研究系教授が、「先進的加熱技法による核融合を見通す超高イオン温度化の研究」によって、平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞しました。本研究では、大型ヘリカル装置(LHD)において、独自に開発した世界最大の大電流ビーム源によりプラズマを加熱する際の高速度イオンの損失を抑える条件を詳しく調べ、有効にイオンを加熱する技法を確立しました。この成果に基づき、平成25年度のLHD実験では更にイオン温度を高めることに成功し、9,400万度を達成しました。定常運転性能に優れたヘリカル方式において、高いイオン温度を達成したことで、核融合発電の早期実現が期待されます。



左から、長壁正樹教授、金子修副所長、竹入康彦実験統括主幹

総研大核融合科学専攻より1名の 博士号学位授与者

平成26年3月20日、総合研究大学院大学(総研大)葉山本部にて学位記授与式が行われました。核融合科学専攻からは、宮澤健さんが学位記授与式に出席し、博士の学位を授与されました。高畑尚之学長から一人一人に学位記が手渡され、修了生は学生生活の締めくくりとして感慨もひとしおのようでした。



平成26年度総研大夏の体験入学のご案内

総合研究大学院大学(総研大)物理科学研究科核融合科学専攻では、大学院への進学を考えておられる方々にプラズマ理工学及び核融合工学に関連した最先端の研究現場を体験していただくことを目的として、平成26年8月25日から29日にかけて夏の体験入学を開催します。核融合プラズマの閉じ込め・加熱・計測に関わる実験及び理論的研究、プラズマ・シミュレーション研究、核融合炉設計・応用研究のための工学的研究等、10課題を超える幅広い分野から興味のある課題を選択し、教員や総研大在学生の指導に沿って、少人数グループによる5日間の合宿形式で、核融合研究の最前線を体験していただきます。夏の体験入学の詳細は、核融合科学専攻ホームページ(<http://soken.nifs.ac.jp/>)をご覧ください。



大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

核融合科学研究所 発行

NIFS NEWS No.217(2014年4, 5月号)

〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6
TEL: 0572-58-2222 (代表) FAX: 0572-58-2601
URL: <http://www.nifs.ac.jp/>
E-mail: nifs-news@nifs.ac.jp

* 過去のニュースはホームページにてご覧いただけます。

《複写される方へ》

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写特許契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F

TEL: 03-3475-5618 FAX: 03-3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp 著作権の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本研究所へご連絡ください。